

(穂土議員)

Q ふれあい館、町民体育館、郷土館の委託について問う。

A 委託の効果は現れてきている。  
(清代健康課長、片川生涯学習課長)



A  
各施設の詳細は、下記の表のとおり。

Q  
① 委託の前後で、経費はいくら抑制されたか。  
② 委託を受けた方は、何時間勤務し、どのような仕事をしているのか。  
③ 余剰金が発生した場合は、どう処理するのか。

質問	ふれあい館	町民体育館	郷土館
①	委託前の平成15年度は約1,600万円経費を要したが、翌年度では包括的な業務委託により3分の2程度に削減されている。	平成17年度の委託料（人件費を除く）は、約1,430万円であったが、町が行うべき施設の改修等を、委託料の範囲内で各種の管理業務が執行された事に基づき、ある程度の抑制が図られたと考えている。	平成17年度は館内展示物の整理等により休館としたが、一定期間、土曜・日曜・祝日のみ「商工会」及び「坊田かずまの会」に無料で管理を委託した。今年度は、土曜・日曜・祝日に開館しており、管理を行う個人と時間単価による管理委託契約を締結している。
②	開館時間は午前8時半～午後9時半で、施設管理全般について委託している。	8時間勤務で、体育施設の運営や維持管理、会計事務、及び町内体育関係団体の育成・支援等を行っている。	
③	前年度の実績から算定しており、余剰金は出ていない。	残額の100分の50に相当する額を町へ返還することとなっている。	



(福垣内議員)

Q 「食育」の普及・充実を。

A 各種施策により普及・啓発に努めていきたい。  
(清代健康課長、加藤学校教育課長)

A  
昨年、健康増進計画地域版「笑顔はな咲く健康くまの21」を策定し、その中で「食」に関する知識と選択する力の習得について、行政・地域・個人それぞれの役割を示している。今後は、各種講演会や教室の開催、広報等による情報発信により、取り組みを地域に広げていきたい。(清代健康課長)  
「早寝、早起き、朝ごはん」キャンペーン、「食べる！遊ぶ！読む！」の子育てのすすめなどを基本とした食育の啓発普及に努めている。具体的には、給食だよりの配布や、資料提供を行っている。今後は、長期的展望により、効果的な施策を全町的な取り組みとして実施する必要があると考えている。(加藤学校教育課長)

Q  
国は国民一人ひとりが食に関する適切な判断力を身に付け、生活改善に繋がることを目指して2005年7月に食育基本法を施行し、食育推進基本計画を作成した。基本計画は、基本法の考え方を具体化するために自治体や教育現場、家庭などで取り組みやすいよう国全体の目安を示したものであるが、①行政、②教育現場、③各自治体にて今後取り組む予定はあるか。